

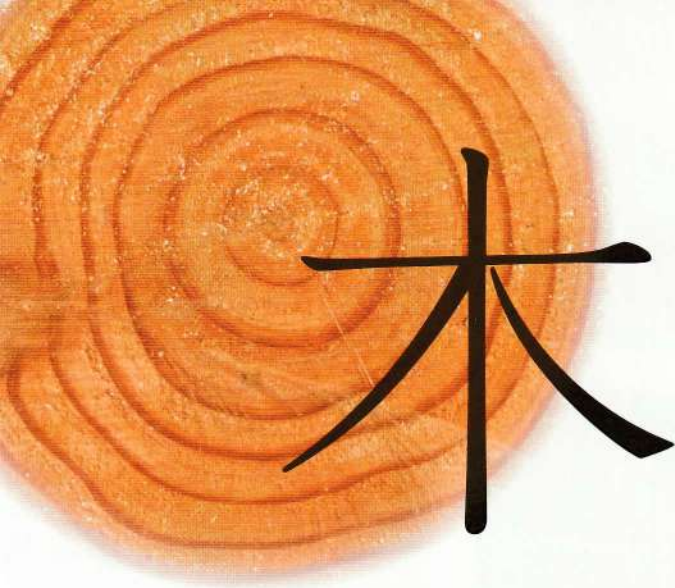
木をいかして  
住まい手の顔が見える家づくり

Contents

木で暮らすα	P1・P2
生活創造力	P3・P4
大きな吹き抜けで家族がひとつになる家	P5・P6
子供がのびのびと育つ開かれた家	P7・P8
自然素材と暮らす家	P9・P10



あしゅな  
木の住まい。  
home sweet home



木で、暮らす<sup>アルファ</sup>α。

“ムク”と聞いて、あなたは何を思い浮かべますか？  
純真無垢のムク、白無垢のムク、無垢な心のムク…、  
どのムクも、まじりけのないもの、純粋なものをあらわしています。

同じように、木材でいう無垢材も天然のままの木材のこと。  
木片を貼りあわせた集成材や合板とはちがうため、正物しやうものとも呼ばれています。

そんなムクの木だけがもつ魅力というものがあります。  
手と足に伝わる温もりのある素材感、  
けって同じものがない木目や風合いの妙、  
快適な空気環境をつくる細胞の構造や働き、などです。

それらを今一度見直すことで、合理性、機能性に走りがちだった  
今の時代の住まいづくりに、  
きっと、うるおいややさしさを取り戻すことができるはず。

木でプラスαは、木で暮らすα。

あなたやあなたの家族だけのプラスαの創り方を  
一緒に考えていきましょう。





知っていますか？ 木の働き。

室内の内装にムクの木を使えば、  
いろんな効果が生まれます。

### 調湿効果

木は湿度が高いと水分を吸収し、低いと水分を吐き出すので、室内のジメジメや乾燥が緩和されます。

### 保温性

木にふれていても体温が奪われにくい  
ため、冬場でも木の床や壁はヒンヤリ感  
がありません。

### リラックス効果

木の香りにはフィトンチッドという物質が  
含まれていて、森林浴と同様に脳のリラ  
ックスをうながします。

### 音響効果

木は低音、高音、中音と、吸音域に  
かたよりが少なく、音楽を聴いたり会話  
をしたりするのに適した素材です。

### 弾力性

木は適度な弾性があるため、床材と  
して歩きやすく、転倒してもカラダに  
受ける衝撃が緩和されます。

### 高比強度

木は軽いため、重さあたりの強度で  
はコンクリートや鋼材よりも数倍高い  
強さを発揮します。

### エコ効果

木を使いつづければ、その木が吸収し  
たCO<sub>2</sub>(炭酸ガス)が空気中に放出  
されることがなくエコロジーです。

あなたの暮らし方を自由に描いてみてください。

# 生活創造力



たくさんのつくり手たちと会う

信頼できるパートナーを選ぶ

住まいづくりとはもともと、地域に根ざした仕事でした。それが大手メーカーの全国展開にともない画一的な建材や工法で建てるマニュアル化されたものにかわっていきました。しかし、地域には地元産の木材を使い、ゆずれないポリシーをもって住まいづくりを実践している会社がまだまだあります。そんなつくり手の人たちに会って、意見を交換してみるのが大切です。

住まいを建てることを決めてから、実際に住み始めるまで、約1年半かかるといわれています。その間、住まい手はつくり手と協働作業を重ねていくことになります。安心して任せられる相手か？ こちらの要望を一方的に受け入れるのではなく、専門家の立場から適切なアドバイスをしてくれるか？ などの視点からベストなパートナーを選定します。

海に見える木のデッキで休日はゆっくりランチを楽しみたい。  
室内に木をいっぱい使って森林浴のようにウッドシャワーをあびてみたい。  
街中にあっても土や緑とふれあう時間を持ちたい。

あなたの家族はこれからどんな風に暮らしていきたいですか？  
住まいを建てることは、暮らしを創ること。  
まずは、創造力ゆたかに日々の生活をイメージしてみてください。  
そして、そんな頭の中のイメージをカタチにしてくれるのがつくり手たちの仕事。  
住まいづくりはパートナーシップを大切にしたい協働作業なのです。

そして、一緒に創り上げてきたという意識があるからこそ、  
住まいができあがったときにお互いが手をとって喜びあうことができるでしょう。



建てるのではなく創る

日々の暮らしを楽しむ

ばくぜんとしたイメージから始まって、間取りのラフスケッチ、設計から施工へと、住まいづくりは段階をへて進んでいきます。人の数だけ、住まいのカタチはあり、住まいづくりとは、まさに家族の夢を創り上げていくことにほかなりません。いろんなことに悩みながらも、そんな過程を楽しむ余裕がほしいものです。

念願の住まいが完成しても、それはゴールではなく、新しい暮らしの出発点。家族が集う居心地のいい居間、心おきなくつろげる自分だけの部屋、友人をもてなす素敵な客間…。それぞれのスペースを舞台にその日から新しい暮らしを思いきり楽しんでください。

### 木は時代の香り ～エコとやさしさと自分らしさのハーモニー～

エコ意識の高まりとともに、環境に負担が少ない等身大の暮らしを志向するロハスや、地産地消をベースに、ゆっくりとおおらかに生きるスローライフといった新しいライフスタイルが支持されてきています。その背景には便利さや効率性ばかりを追求め、本当に大切なものを見失ってきたことへの反省があるように思えます。

気づいてみると、私たちは、人間らしさ、自然らしさというもとのから、ずいぶん離れてしまっていた。そんな反動から、地元でとれた自然なものを口にしたいという欲求がおこったり、自然素材でつくられた住空間の中で暮らしたいという声が大きくなったのでしょうか。木はそんな自然素材の代表格ともいえます。

木を使って、人と暮らしと環境にやさしさを呼び戻してくれる、新しい時代の住まいづくりをはじめたいですね。

# 住まいのレポート 大きな吹き抜けで 家族がひとつになる家

01

Sさん一家 静岡県富士宮市

家族構成:ご夫婦と子供2人  
構造:木造2階建て  
延べ床面積:100.93㎡  
施工期間:平成19年7月~12月



地場産のスギとヒノキが作り出す自然体の時間、  
家族のこだわりをじっくりと熟成させた住まい。



三方の窓から陽光がふりそそぐキッチン。

木の香りと開放感にあふれる学習コーナー。

**家族の暮らし方を  
考え抜いた間取り**  
吹き抜けの居間には、どっしりとした味わいのある大きなハリがわたり、子供達の大好きなブランコがかけてられています。奥さまはお茶や生け花の師範でもあるため、将来、和室を教室として使う場合を想定し、居間を通らず土間から直接和室へ上がれるようにしています。2階は吹き抜けをかこむように寝室と子供部屋、パソコンが置かれた家族共用の学習コーナーが配置され、空間的に1階と2階との連続性がたもたれています。部屋の間取りや仕様に将来を見こした細やかな配慮が息づいていて、まさに家族とともに成長する住まいとなっています。

**大きなハリと天井の造作が  
アクセント**  
最初はやけていた要望が、つくり手と話し合いを重ねるうちにはつきりとしてきました。そう語るSさん一家。求めていたのはオリジナリティを表現できる家、そして昔ながらの木や石などの自然素材を使った日本的な家でした。そんな住まい手のこだわりに対してつくり手が意識したことは、職人による手仕事のあつと実感してもらえらること。中でも木の使い方にはこだわったということでした。同じしずおか優良木材の中でも、柱は富士ヒノキ、ハリはスギと使い分けて変化をだしています。さらに木を前面に出すのではなく、壁を大壁にしてあえて床と天井面だけ木を見せるようにしています。



ベランダやポーチにも木を使い街並みに映える外観。

炬燵をしつらえた和室は将来、  
教室としての活用も。



玄関から土間を通して和室に直接上がれる。

自分たちのオリジナリティをだしたい

新建材よりも自然素材で

開放感あふれる中央の吹き抜け

先を見越した未来型の間取りプラン



木の豊かな表情に出会える間仕切りのないリビング。



格子柄の天井、大きなハリ、趣きあふれる和のテイスト。



住まいのレポート

02

# 子供共がのびのびと育つ 開かれた家

Wさん一家 静岡県藤枝市

家族構成:ご夫婦と子供3人  
構造:木造2階建て  
延べ床面積:147.4㎡  
施工期間:平成19年10月~平成20年3月

ふとしたときに感じる自然との一体感、  
四季を通じてやさしい気持ちですごしていける。



周囲の気配がわかる閉鎖的ではない玄関へのアプローチ。



山のみずみずしい息吹が感じられるロケーション。



ベランダから明るい日差しがふりそそぐ2階の子供部屋。

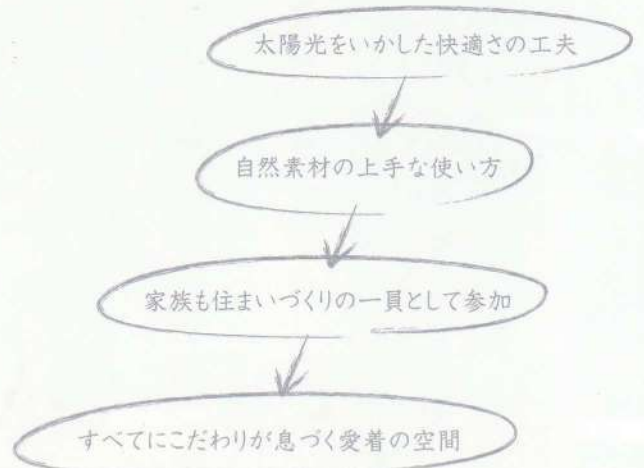
## 住まいは家族とともに 成長するもの

家族の時間を大切にするとともに、人が集まる楽しい暮らしをかなえたいと思っていたWさんご一家。何度も打合わせをかさねて、じぶんたちの想いをつくり手に伝え、いろいろな提案を受けながら、お互いの信頼関係を深めていかれたとのこと。できあがった住まいの前に立つと、玄関前の庭には家族が足をこんで植木屋さんから購入したシラカシやヤマモミジの枝が風にゆれ、やがて緑が濃くなる芝のじゅうたんが子供たちが飛びはねている姿が目につかんでくるようです。家の裏手には数台分の駐車スペースが確保され、いずれはカーポートや物置へとかたちを変え、家の構えができあがっていくことでしょう。

## 家族が参加する 住まいづくり

最初からつくり手の中にあっただのが、家族もつくり手の一員だという意識。設計段階だけでなく、施工の一部工程にも家族に参加してもらっています。そのかいあって完成した住まいは空間のすみずみまで手づくり感が生まれ、木や和紙などの自然素材が奏でるやさしさにあふれています。地元大井川産のスギとヒノキの柱とハリによって、木の架構の美しさと力強さを表現するとともに、床のムク材が肌ざわりの良さを、壁や天井の木が調湿性を生みだしています。さらにそんな感性的な要素にくわえて、生活しやすい導線、採光や通風といった機能的な側面もしっかりとおさえられ、やさしさと住みやすさを両立させた住まいとなっています。

ベランダ、デッキ、玄関戸、板塀、軒裏など、外回りにも木を多用。



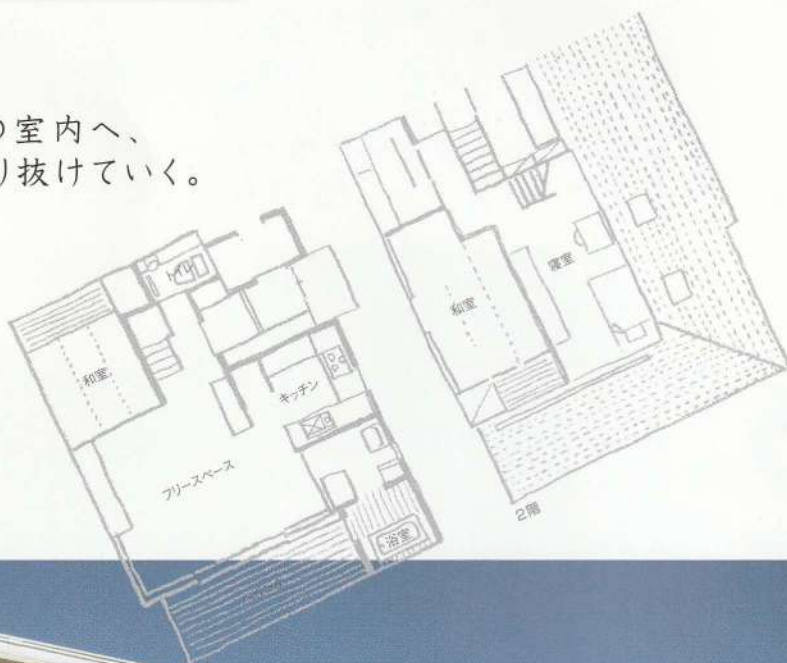
住まいのレポート  
自然素材と暮らす家

03

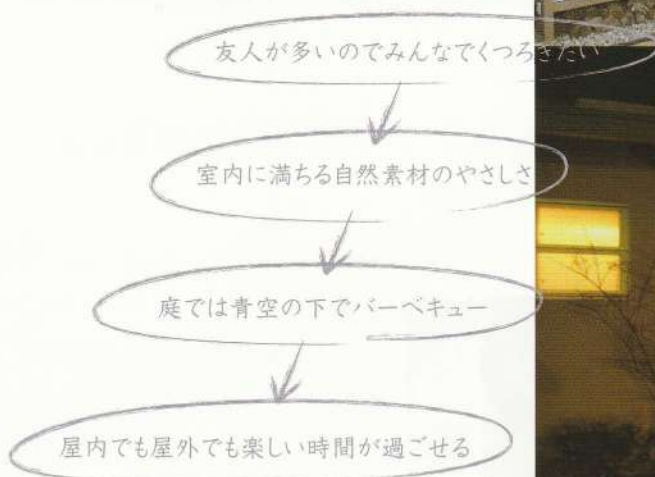
Kさん一家 静岡県浜松市

家族構成:ご夫婦と子供2人  
構造:木造2階建て  
延べ床面積:109.79㎡  
施工期間:平成20年5月~11月

バーベキューをしている庭から1階の室内へ、  
笑い声が爽やかな風といっしょに通り抜けていく。



庭でバーベキューをしたときにみんなが一列に座れる濡れ縁。



薪ストーブが家族のだんらん時間をあたためる。



重厚感にあふれる木の玄関扉。

空気循環ファンによる  
自然の空調

1階には廊下をつくらず、視界的な  
さえぎりをなるべくなくして開放感  
を演出。同時に部屋の戸を引き戸に  
して風通しを良くしています。ま  
た、玄関、階段下、居間、台所、洗面  
所といった要素には造り付けの収納  
スペースを設けて、すっきりと暮らし  
やすくしています。また、一年を通  
じて快適性をどう確保していくか、  
という課題につくり手が提案したの  
が基礎断熱工法。これは夏は約28  
℃、冬は約18℃という床下の空気を  
循環ファンを使って室内に送りこむ  
方式で、なるべく冷暖房に頼らない  
生活が実現しました。Kさんご一家  
の自然素材と暮らす家は、まさに地  
元の木材と職人の腕が活かされた  
好例といえます。

人と人とのきずなを深める  
来客が多いので、みんなでくつろげる  
家にしたかった、と話すKさんご一  
家。ご主人はサーフィンが趣味という  
ことで、休日には行動派のお仲間が  
集まること多いとのこと。そんなラ  
イフスタイルに合わせて、つくり手が  
提案したのが、天然乾燥をとりいれ  
た地元産の天竜スキの活用でした。  
これを床材や天井に使用して調湿性を  
ひきたすとともに、蓄熱性のある土  
壁を採用。まさに自然の息吹が感じ  
られる空間に仕上がりました。庭に  
面した居間には木製建具のサッシを  
組み入れ、濡れ縁も設けました。ご  
主人がサーフィンから帰ってきたと  
きに、この濡れ縁から直接、浴室にい  
くこともできます。

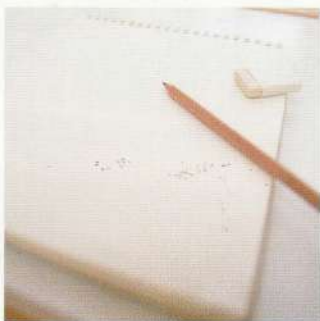


地元の天竜スキがふんだんに活かされた床や天井。

まさにウッドシャワーのような木の息吹に満ちた室内。



グレーとホワイトのコントラストが鮮やかなモダンな外観。



**けん木ねん**

静岡県木材協同組合連合会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 県庁西館9階  
TEL.054-252-3168 FAX.054-251-3483  
e-mail : s-mokuren@mail.wbs.ne.jp  
<http://www2.wbs.ne.jp/~smokuren>

※本資料の無断転載を禁じます。※このパンフレットは環境負荷低減のため「古紙配合再生紙」を使用しています。